

11/25
～26

社協職員に求められるものは何か？

宍粟で県内社協ワーカー実践研究会

「住民と共に歩む小地域福祉活動」と題し、県内の社協ワーカー実践研究会が、ここ宍粟市で開催されました。

宍粟市社協の活動を各支部より実践報告し、地域に合わせた活動の重要性、小地域福祉活動の目的や課題・改善点を分析しました。

そして、自分達の地域特性にあった小地域福祉活動を推進するため社協職員に求められている事は何かを検討し、日頃の業務を振り返る「気づき・学習の場」となりました。

また、地域で自治会を中心に活発な取り組みをされている4名の代表者から活動報告を受け、社協としての関わり方や職員に求められる役割など、改めて考える機会となりました。

【活動発表者】（敬称略）

山口 澄代（山崎町段）

村上 貞治（一宮町福知）

丸井 豊子（波賀町原）

阿曾 三枝子（千種町黒土）

活動発表者のみなさま、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。



一宮保健福祉センターにて県内社協職員40名が参加。
KJ法による作業風景



活動発表者の皆様

新車両が活躍中！

「高野山真言宗播磨第九参与会」からの寄附金を活用して、本部・一宮支部に配備した新車両（車イス対応）が、軽快に市内を走っています。現在は、お達者クラブ（介護予防事業）やひとり暮らし高齢者のつどいの送迎に活躍しています。今後は移送サービス



バスでも活動できるよう、準備をしています。

おやこで生の舞台を楽しみましょう！

劇団道化

しょうぼうじどうしゃじふた

劇団風の子関西

おさんぽさんぽ

共同募金配分金を活用し、子育て支援の取組をより一層充実させるため、子どものための健全な文化を育てる事業に取り組みます。今年度も2作品をそれぞれ市内の2会場で上演します。小さな方から大人の方まで多数のご参加を呼びかけます

しょうぼうじどうしゃじふた	
2月28日(土)	神戸幼稚園
3月1日(日)	宍粟防災センター
おさんぽさんぽ	
3月13日(金)	センターちくさ
3月14日(土)	市民センター波賀